

平成 30年 6月 1日

総合政策局国際政策課

第 11 回 ITF（国際交通フォーラム）交通大臣会合の開催概要

5月23日（水）～5月25日（金）に、ドイツ・ライプチヒ市において開催された、第11回 ITF 交通大臣会合に、奈良平国土交通審議官が出席しました。また、併せて、アメリカ・カナダ・ロシアとの二国間会談を行いました。

平成30年5月23日（水）～5月25日（金）の間、ドイツ・ライプチヒ市において、第11回 ITF 交通大臣会合が、下記の通り開催され、我が国から、奈良平国土交通審議官が首席代表として出席しました。

1. 日 程 : 平成30年5月23日（水）～5月25日（金）
2. 場 所 : ドイツ・ライプチヒ市
3. テーマ : 「交通の安全とセキュリティ」
4. 参加者 : 国土交通省 奈良平 国土交通審議官 他
5. 日程概要 :

5月23日	開会全体会合、大臣ラウンドテーブル
5月24日	大臣セッション、大臣ラウンドテーブル
5月25日	全体会合

第11回 ITF 交通大臣会合、二国間会談の概要は別紙のとおりです。

以上

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 国際政策課：前野、田中

電話：03-5253-8111（内線25715）

03-5253-8313（夜間直通）

03-5253-1561（Fax）

会議の概要

(1) 大臣セッション

主な議題と結果は以下のとおりです。

① 大臣宣言の採択

「交通の安全とセキュリティ」に関する大臣宣言が採択されました。

② 議長国の承認

議長国として、2019年：韓国、2020年：アイルランド、2021年：モロッコ、2022年：イギリスとなることが承認されました。

(2) 大臣ラウンドテーブル

① 輸送と気候変動

日本を含む15名の各国大臣・民間CEO参加者等が、交通における炭素排出量削減に対する対策や課題、ベストプラクティスの共有などについて議論しました。

② 交通によるデジタルデバイスへの依存

日本を含む15名の各国大臣・民間CEO参加者等（日本は国交審出発後のためオブザーバー参加）が、交通分野のデジタル化が進む中でデジタル技術がどのような恩恵をもたらすか、国際的なスマートモビリティの実現に向けて期待される政府間協力や連携の役割について、議論しました。

(3) 二国間会談

デレク・カン運輸省副次官（アメリカ）、パム運輸省副次官（カナダ）、ユルチク運輸次官（ロシア）と二国間会談を行い、G7大臣級会合、自動車分野における協力等について、意見交換を行いました。

写真1

大臣宣言が採択された後の大臣フォトセッションに参加した掛江審議官



写真2

米国とのバイ会談後、握手する奈良平国土交通審議官(右)と米国のデレク・カン運輸省副次官(左)

